



おひさましポート

OHISAMA REPORT 2021.3.1 No.112

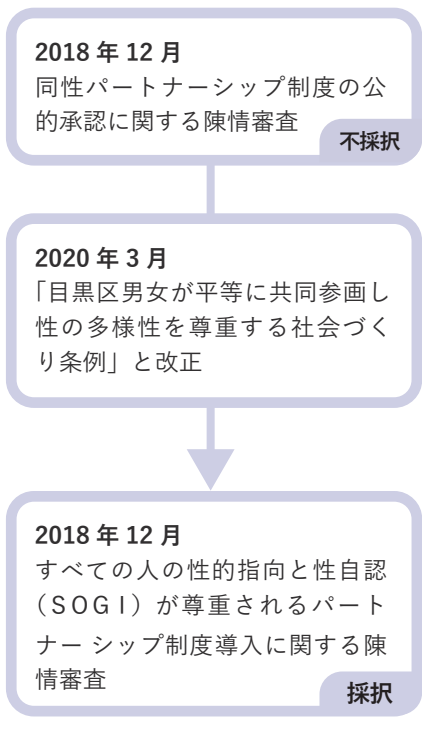
発行責任者：今井真理 〒152-0003 目黒区碑文谷 6-1-19 アネックス1F TEL/FAX：03-3791-8069 <http://meguro.seikatsusha.net>

目黒区の性の多様性をめぐる動き

2018年12月に区議会で、「同性パートナーシップの公的承認に関する陳情審査」が行われました。目黒・生活者ネットワークは、「パートナーシップ承認制度の創設」だけに留めるのではなく、独身者・婚姻者、同性カップル・異性カップル、また、障がい者や外国人など社会的に弱い立場の方も含め、全ての人が平等に扱われるインクルーシブな社会を目指すべきという姿勢を貫き、当時パートナーシップ制度創設よりも議論が大事だと訴えました。

その後、2020年3月に「目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例」が「目黒区男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」へと改正されました。そして、9月定例会では「すべての人の性的指向と性自認(SOGI)が尊重されるパートナーシップ制度導入に関する陳情審査」が採択されています。パートナーシップ制度を導入している自治体の数は、9月1日現在では、全国で59自治体、都内では7区と1市となっています。

この制度ができたからといって同性婚を国が認めるまでには長い道のりが必要ですが大事なステップです。生活者ネットは、全ての人が平等でインクルーシブな社会が一日でも早く実現するように、今後議論を深めていきます。
(広吉敦子)



2021年度予算要望提出

2020年10月、生活者ネットは、①子育て支援 ②環境 ③ジェンダー ④教育 ⑤8050ひきこもり問題について、目黒区に対し2021年度の予算要望を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大予防対策により、社会的に弱い立場の人々の生活が困窮していることを訴え、行政は声の届きにくい人々への情報発信と情報収集に心がけ、支援を進めて欲しいことなど区長に求めました。

(今井真理)



新型コロナウイルス対策として、石けんでの手洗いが有効だということもお伝えしました。

女性の安全安心自治体調査(セクハラ・DV・性暴力施策) 結果ランキング発表! ~女性が暮らしやすいまち~

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、外出制限などで、家庭で過ごす時間が増えることになり、ドメスティック・バイオレンス被害が世界的に増え、注目が集まっています。

東京・生活者ネットワークは、各地域での議会質問や地域活動を通して女性への暴力根絶を訴えてきました。そこで、2020年3月に各自治体に対し「女性の安全安心自治体調査」を行いました。調査結果を点数化し、ランキング結果が出ましたので、ご報告します。目黒区は48自治体中、総合ランキング12位、性暴力対策ランキングでは3位という結果でした。

★総合ランキング 上位10自治体 * () 内は点数、100点満点

1位 (54)	日野市	2位 (49)	八王子市	3位 (47)	国分寺市
4位 (46)	港区 世田谷区 中野区 豊島区	8位 (42)	文京区		
9位 (41)	大田区 江戸川区				

☆性暴力対策ランキング 上位9自治体

1位	八王子市 日野市
3位	江戸川区 中野区 文京区 江東区 目黒区 世田谷区 練馬区